



情報提供書Web入力フォーム説明書

NEDO先導研究プログラムの技術シーズの情報提供依頼（RFI）について

必要情報の入力及び情報提供書のアップロードを行ってください。なお、他の方法（持参、郵送、FAX・メール等）による応募は受け付けません。

募集期間：2026年7月1日(水)～2026年8月19日(水)正午

（※）再提出は受付期間内なら何度でも可能です。同一の法人から同じ研究開発テーマ名の複数の情報提供が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。また、再提出の場合は、差分ではなく、全書類を再提出してください。

初回登録時UUIDの生成手順：

1)初回のご登録時に、以下のサイトで、"UUID(116d5878f57d)"をコピーし、フォーム内の「初

初回登録時には必ずUUIDを生成してください。

<https://waza.tools/tools/uuid-generator/>

情報提供書：

（※）研究開発テーマの補足説明に当たって、クラウドファイルサービスBox上の以下のURLによりアップロードするファイルには、パスワードを設定しないでください。

NEDO指定のパワーポイント形式で作成したファイルをアップロードしてください。

※ファイル名は、"初回登録時UUID(.pptx等の拡張子)"としてください。

<https://nedo.app.box.com/f/1edd8f8ad8be43cba282f2fdae97ebdb>

1. 初回登録時UUID *

上記説明欄の「初回登録時UUIDの生成

初回登録時UUIDの生成手順に従って、UUIDを生成してご入力ください。提出期間内であれば何度でも提出可能です。再提出の場合も、必ず初回提出時に入力したUUIDを記載してください。

回答を入力してください

12. ①研究開発テーマ名 *

20字以内で記載してください。

20 文字以内で入力してください

13. ②達成すべき技術課題 *

40字以内で記載してください。

40 文字以内で入力してください

②記入例：「〇〇における〇〇〇〇〇〇〇〇の解決（解消、向上、拡大／低減、縮小、削減、．．．）」や「〇〇における〇〇〇〇〇〇〇〇の創出（創製、合成、．．．）」など

14. ③-1 技術・事業分野 *

今回提供する技術シーズが該当すると思われる技術・事業分野を、以下よりいずれか一つを選択してください（複数選択不可）。他に該当すると思われる領域がある場合には「その他」を選択し、領域の名称を記載してください。

- 新エネルギー分野
- 省エネルギー分野
- 蓄電池・エネルギーシステム分野
- 環境・省資源分野
- 電子・情報通信分野
- 材料・ナノテクノロジー分野（バイオを除く）
- バイオエコノミー分野

③技術・事業分野の選択にあたっては、各分野にどういった技術が含まれるかについては、P4-5に掲載の技術・事業分野一覧表を参照してください。

15. ③-1 技術・事業分野の小項目番号 *

技術・事業分野の小項目番号を数字でご記入ください。小項目番号は複数の小項目に該当する場合は番号を列記して下さい（記載例：1、2、3・・・）
⇒ 以下③-2、③-3の項目については、フロンティア育成事業に関する情報提供以外の場合には記載不要です。

回答を入力してください

P4-5に掲載の技術・事業分野一覧表を参照し、③-1でチェックした技術・事業分野の小項目の番号を入力して下さい。
記入例「新エネルギー分野」をチェックした場合は該当分野の中から該当する番号を記載。
・複数の小項目に該当する場合は番号を列記して下さい（記載例：1、2、3・・・）。
・該当が不明な場合は「不明」と記載してください。

さい。
なお、フ

③-1 技術・事業分野の小項目番号

技術・事業分野	小項目
1. 新エネルギー分野	1. 太陽光利用
	2. 風力利用
	3. 海洋利用、河川利用
	4. バイオマスエネルギー利用
	5. 地熱利用
	6. 再生可能エネルギー熱利用
2. 省エネルギー分野	7. 省エネ産業プロセス (製鉄プロセス、化学プロセス、産業機械等)
	8. 省エネ民生機器 (家電、空調、照明等。材料開発のみは29)
	9. 省エネ運輸関連機器 (輸送用機械:車、電車等)
	10. 航空機等先進機械システム、空モビリティ(ドローン含む)、宇宙利用、ロケット関連
	11. その他モビリティ(水中ドローン含む)
	12. 未利用熱循環利用技術 (熱電力変換、産業用ヒートポンプ、蓄熱・蓄冷、断熱)
	13. 高温超電導
3. 蓄電池・エネルギーシステム分野	14. 水素サプライチェーン(水素製造、貯蔵、輸送、利用)
	15. 燃料アンモニア製造・利用
	16. 水素燃料電池、水電解水素製造
	17. 蓄電池
	18. 電力系統・送電システム
	19. その他 発電・エネルギー変換技術

技術・事業分野	小項目
4. 環境・省資源分野	20. 資源有効利用・資源循環システム
	21. CO2有効利用化学プロセス
	22. DAC(Direct Air Capture)技術
	23. その他のCO2大幅削減に結びつくプロセス
	24. 気象制御、環境測定・利用、その他
25. 水循環、水中有用資源回収・再生	
5. 電子・情報通信分野	26. 電子デバイス(パワーデバイス、センシング)
	27. 量子コンピュータ
	28. 量子通信・暗号技術
	29. ディスプレイ、有機トランジスタ、照明、 (プリンテッドエレクトロニクス等含む)
	30. ネットワーク/コンピューティング (IoT関連)、光回路
6. 材料・ナノテクノロジー分野(バイオを除く)	31. 構造材料
	32. 希少資源削減・代替技術
	33. 機能性材料
	34. マテリアルズインフォマティクス、プロセスインフォマティクス関連技術
	35. 先端計測・分析技術
	36. 革新的化学工学プロセス技術(合成化学の効率化)
	37. その他 材料・部材(プロセス含む) (電子部材は26~30)

③ー1 技術・事業分野の小項目番号

技術・事業分野	小項目
7. バイオエコノミー分野	38. バイオベース素材、バイオプラスチック
	39. 生物機能活用物質生産技術(合成生物学的手法など)、バイオ生産システム
	40. バイオ関連解析・計測／分析技術(新規解析技術、現状技術の高効率化・高精度化など)、情報解析技術(バイオ関連)
	41. バイオ研究開発のサイクル高速化、バイオ製造の高精度化・高速化・遠隔化技術
8. ロボット・AI技術分野	42. 生成AI関連技術(既存モデルの特定課題・産業への単純適用は含まず)
	43. AIロボティクス関連技術(ロボットハードウェア含むが、既存技術の単なる省人化のための導入は含まず)
9. 新製造技術分野	44. 産業用3Dプリンタ造形技術
	45. 次世代レーザー活用技術
	46. 革新的設計生産技術(純粋な化学プロセス、機械生産システムは7.へ)

技術・事業分野	小項目
10. 自動車DX分野	47. SDV領域
	48. モビリティサービス領域
	49. データ利用領域
	50. モビリティ社会インフラ
11. 境界・融合分野	51. 境界・融合分野(上記50分野に分類を迷うもののみ)
12. その他	52. スマート農業、スマート林業関連技術
	53. インフラ維持管理
	54. その他(上記53分野には該当しないと思うもののみ)
	55. その他(企業を主体とするGXへの貢献度の高い技術開発)

16. フロンティア領域に関連するか否か*

「先導研究RFI説明資料」に記載のフロンティア領域に関連する場合は「はい」、関連しない場合は「いいえ」を選択してください。
要素技術等の部分提案やアイデアレベルも歓迎します(TRLは2以上を想定)

- はい
 いいえ

提供する技術シーズが「先導研究RFI説明資料」に記載のフロンティア領域に関連する場合は「はい」、関連しない場合は「いいえ」を選択してください。
要素技術等の部分提案やアイデアレベルも歓迎します(TRLは2以上を想定)

17. ③-2 フロンティア領域*

今回提供する技術シーズが下記、フロンティア領域に該当すると思われる場合は選択してください（複数選択可）。

- 原子層エレクトロニクス
 フォトニクスコンピューティング
 量子センシング
 海洋ロボティクス
 デジタル感性
 次世代焼結
 地下未利用資源の活用
 長期エネルギー貯蔵による変動性再生エネルギー最大活用

【上記で「はい」を選択した場合のみ】
提供する技術シーズがフロンティア領域に該当する場合は、③-2のリストから選択してください。選択肢に該当がない場合は「その他」を選択し、技術領域を記載してください。
※フロンティア領域に関しては以下、Innovation Outlookも参照して下さい。
https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101939.html

18. ③-3 フロンティア領域に関連する技術分野*

今回提供する技術シーズが下記、フロンティア領域に関連する技術分野に該当すると思われる場合は選択してください（複数選択可）。

- 原子層エレクトロニクス（高品質成膜、プロセス、インテグレーション）
 フォトニクスコンピューティング(行列とベクトルの次元拡張性技術、集積度の要求を克服する技術、アナログ演算の誤差抑制と補正技術、非線形デバイス集積化技術)
 量子センシング（環境ノイズ耐性の向上技術（感度向上の両立）、環境耐久性、信頼性向上に資する技術、センサおよびシステムの量産&低コスト化、センサシステムのユースケース開拓、量子情報NWへの接続技術）
 海洋ロボティクス（海中から宇宙までつなぐ無線通信技術、過酷な海象にも耐える外乱抑制技術、混雑・混濁海域や沼地を航行する自律型ロボット）
 デジタル感性（質感までセンシングする技術、質感まで再現する技術、人の多面的な反応を簡易に計測する技術、高精度デジタル感性構築技術、デジタル感性による新たな価値創出）
 量子マテリアル（トポジカル物質、スピントロニクス）
 生物規範型ロボティクス（ソフトロボット、バイオハイブリッドロボット）
 次世代焼結（超高速高温焼結、プラズマ焼結、フラッシュ焼結）、磁気冷却
 地下未利用資源の活用（天然水素）
 長期エネルギー貯蔵による変動性再生エネルギー最大活用（経済的先進LDES、LDESの運用方法の検討）

【上記で「はい」を選択した場合のみ】
提供する技術シーズが③-3に該当する場合は、リストから選択してください。選択肢に該当がない場合は「その他」を選択し、技術領域を記載してください。

18. ④-1 国の戦略 *

今回提供する技術シーズが関係すると思われる国の戦略を以下より一つ以上選択してください（複数選択可）。他に該当すると思われる戦略がある場合には「その他」を選択し、戦略の名称を記載してください。また、該当するものがない場合には「該当なし」を選択してください。

- 革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）
- 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和2年12月）
- 産業技術ビジョン2020（令和2年5月29日経済産業省）
- 統合イノベーション戦略2025（2025年6月6日閣議決定）
- マテリアル革新力強化戦（令和7年6月4日統合イノベーション戦略推進会議決定）
- バイオエコノミー戦略（令和6年6月3日統合イノベーション戦略推進会議決定）

④-1の各戦略のURLについては、本資料の「参考」に記載。

* 既存の国の戦略・ビジョン等に該当しなくても、この趣旨に該当するものであれば、RFIを提出していただくことは可能です。また、これ以外の国の戦略・ビジョンも記載いただいても構いません。

19. ④-2 技術成熟度（TRL） *

今回提供する技術シーズの現時点におけるTRL（技術成熟度レベル）を自己評価し、以下よりいずれか一つを選択してください（複数選択不可）。

※TRLは各種文献を踏まえ作成

- TRL1 科学的な基本原理・現象の発見・確認
- TRL2 原理・現象の定式化、応用可能性の確認、応用的な研究
- TRL3 技術コンセプトの確認、要素技術の構想（創案・調査・予備実験・設計など）
- TRL4 各開発要素の製作と性能確認、応用的な開発（要素レベル）
- TRL5 全てを統合した実証システム（試作品）の製作（要素レベル）

④-2については、今回提供する技術シーズの現時点におけるTRL（技術成熟度レベル）について、自己評価し、いずれか1つを選択してください。

※TRL:各種文献を踏まえ作成

24. ⑥ 社会実装のイメージ・インパクト*

300字以内で記載してください。

2040年以降の実用化イメージ、産業への波及効果等を具体的に

300文字以内で入力してください

25. ⑦ 類似する研究開発プロジェクト (該当する場合)

今回提供する技術シーズに類似する研究開発が、過去又は現在を記載してください。(記入例 ●●年～○○年配分機関名(制度

回答を入力してください

26. ⑧ 既提案先部署名 (該当する場合)

今回提供する技術シーズを、経済産業省 (METI) やNEDOの○○部

回答を入力してください

⑥については、情報提供いただく先導研究が成功裏に本格的な研究開発へ発展し、最終的な開発成果が得られた場合に、どのように政策課題の解決に貢献し、社会に還元されるのかを、社会実装のイメージや産業へ及ぼすインパクト等を示して簡潔・具体的に記述してください。

技術的に達成される仕様 (例えば、効率、寿命等) や、可能であれば、その開発技術が最終的に実用化されたときに想定される経済的効果、市場規模、省エネ効果、CO2削減効果等を、競合技術に対する経済的優位性を示しつつ、記載してください。

効果の算出にあたっては、入手できる定量的データ等の根拠も合わせ記載してください。

⑦は、今回提供する技術シーズについて、過去又は現在、類似する研究開発が他の研究開発制度・プロジェクトで行われている場合に、実施期間、配分機関名、制度・プロジェクト名を記載してください (前身のJST事業等も含む)。

27. ⑨ NEDO VIPワークショップの活用

先導研究プログラムでは、RFIに応じて提出された情報から、公募課題にいたらなくとも、NEDOが抽出した技術提案に関するワークショップ等を開催することで、情報発信や交流の機会を作る取り組みとしてビジョナリー・インキュベーション・プログラム (VIP) を行っています。VIPによって産学官で技術や社会像 (ビジョン) を議論、共有することで、新しい技術のネットワークやコミュニティの形成・拡大に寄与し、RFIへの情報提供に活用いただくことを期待するものです。VIPについては以下をご覧ください。

「NEDO新技術先導研究プログラム」

<https://www.nedo.go.jp/>

※なお、VIPは今後の公募

機会があればVIP

VIPワークショップ

現時時点で判断は

⑨については、RFIに応じて提出された提案中に存在する有望な技術シーズについて、情報発信を行う新しい取り組みであるビジョナリー・インキュベーション・プログラム (VIP) ワークショップについての設問です。ご希望に応じて1つ選択をお願いします (任意回答)。

VIPについては以下もご参照ください。

「NEDO新技術先導研究プログラム/RFI情報提供者によるビジョナリー・インキュベーション・プログラム (VIP) ワークショップ」の開催報告」

https://www.nedo.go.jp/events/report/Z2MS_00021.html

28. 国際共同研究開発に関する情報提供ですか? *

- はい
 いいえ

送信

国際共同研究開発に関する情報提供の場合に必ず「はい」にチェックして、「送信」ボタンを押下してください。国際共同研究開発に関する情報の入力セクションに切り替わります。

国際共同研究開発に関する情報提供以外の場合には、「いいえ」にチェックして、「送信」ボタンを押下してください。

国際共同研究開発に関する情報提供の場合

⇒ 以下⑩の項目については、国際共同研究開発に関する情報提供の場合に必ず記載してください（⑩-4及び⑩-5は任意記載で可）。なお、国際共同研究開発に関する情報提供以外の場合には記載不要です。

29. ⑩-1 国際共同研究に関する情報の提供先 *

国際共同研究に関する情報提供の場合は、今回提供する技術シーズの情報提供先

- 国際共同研究開発のみ（国内研究開発には希望しない）。
 国際共同研究開発及び国内研究開発の両方に情報提供を希望する。

⑩は、国際共同研究開発に関する情報提供の場合に必ず記載してください。ただし、⑩-4及び⑩-5は任意記載とします。

なお、国際共同研究開発に関する情報提供以外の場合には、⑩の項目はいずれも記載不要です。

30. ⑩-2 想定される海外共同研究先（国・地域名と機関名） *

（記入例）○○○○○○○○国 ○○○○○研究所

回答を入力してください

⑩-3は、経済産業省が2019年11月6日に公表した「国の研究開発プロジェクトにおける国際連携強化に関する基本的な考え方」（※）を適宜ご参照いただき、国際共同研究開発を行うことが有意義な理由（国際共同研究の必要性、日本側へのメリット、海外の研究機関の選定理由、研究の役割分担）をなるべく具体的に記載願います。なお、上記の基本的な考え方におけるプロジェクトの類型として「①技術獲得・共創型」、「②市場獲得・創出型」、「③持帰型（海外研究環境・事業環境の活用）」があげられております。

※

https://www.meti.go.jp/policy/innovation_policy/basic_policy.html

31. ⑩-3 国際共同研究の意義・メリット *

500字以内で記載してください。

500文字以内で入力してください

- 革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）
<https://www8.cao.go.jp/cstp/siryu/haihui048/siryu6-2.pdf>
- 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和3年6月18日関係府省）
https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/ggs/pdf/green_honbun.pdf
- 産業技術ビジョン2020（令和2年5月29日経済産業省）
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/kenkyu_innovation/pdf/20200529_05.pdf
- 統合イノベーション戦略2025（2025年6月6日閣議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/togo2025_honbun.pdf
- マテリアル革新力強化戦略（令和7年6月4日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/material/material_2025_honbun.pdf
- バイオエコノミー戦略（令和6年6月3日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/bio/bio_economy.pdf
- AI戦略2022（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/aistrategy2022_honbun.pdf
- 量子エコシステム構築に向けた推進方策（令和7年5月30日量子技術イノベーション会議より報告）／量子産業の創出・発展に向けた推進方策（令和6年4月9日量子技術イノベーション会議より報告）／量子未来産業創出戦略（令和5年4月14日統合イノベーション戦略推進会議決定）／量子未来社会ビジョン（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）／量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）
https://www8.cao.go.jp/cstp/ryoshigijutsu/250530_q_ecosys.pdf
- 「安全・安心」の実現に向けた科学技術・イノベーションの方向性（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）
https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/anzen_2.pdf
- 第7次エネルギー基本計画（令和7年2月閣議決定）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/
- 成長志向型の資源自律経済戦略（2023年3月31日策定）
<https://www.meti.go.jp/press/2022/03/20230331010/20230331010.html>
- 循環経済行動計画（案）（令和8年4月21日閣議決定）
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/economiccirculation/pdf/honbun_080421.pdf
- 半導体・デジタル産業戦略（令和5年6月 経済産業省 商務情報政策局決定）
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/conference/semicon_digital/semiconductors_and_digital.pdf

- 次世代型太陽電池戦略（2024年11月28日 次世代型太陽電池の導入拡大及び産業競争力強化に向けた官民協議会）
https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/perovskite_solar_cell/20241128_report.html
- 蓄電池・電源産業戦略（令和8年6月2日蓄電池産業戦略推進会議）
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/conference/battery_strategy2/sennryaku.pdf
- 人工知能基本計画（令和7年12月23日閣議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_plan/aipplan_20251223.pdf
- AIロボティクス戦略（令和8年3月26日AIロボティクスに関する関係府省連絡会議）
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ai_robodai2/shiryo1.pdf
- NEDO燃料電池・水素技術開発ロードマップ
https://www.nedo.go.jp/library/battery_hydrogen.html
- 水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業
https://www.nedo.go.jp/koubo/SE3_100001_00107.html
- 省エネルギー・非化石エネルギー転換技術戦略2024
https://www.nedo.go.jp/library/energy_conserv_tech_strategy.html